

令和 6 年 1 0 月

保護者の皆様

京都市教育委員会
(指導部 総合育成支援課)

絵本等の「一般図書」(育成学級や総合支援学校で使用する教科書)の ご紹介について

平素より、本市立学校園の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたびは、保護者の皆様に、育成学級や総合支援学校で使用する教科書として選定された「一般図書」をご紹介させていただきます。育成学級や総合支援学校で使用する教科書は、子どもたち一人一人の障害や発達の状態に応じて、文部科学省の検定教科書等に加えて、絵本や図鑑等の「一般図書」から選ばれることとなっております。

この「一般図書」は、学識経験者や経験豊富な教員等による教科書選定委員会において、選定が行われており、現在、総数計 1,294 点に上っています。

以下の図書は、今年度新たに選定された「一般図書」です。子どもたちが興味関心をもって楽しく学べるものとして選ばれた図書が多くあります。ご参考としてご覧ください。

「大ピンチずかん」

鈴木のりたけ／作 (小学館)

主人公の男の子が、日常生活の中で大ピンチに遭遇する様子が描かれている。

どんな大ピンチがあるか知っておけば、心の準備ができる。

大ピンチなんて怖くない！



「子どものぎもん事典 こんなとき、どうする？」

諸富祥彦・今泉忠明・国崎信江／監修 (金の星社)

日常生活の中にある疑問や悩みがあるとき、どのように考え、
どのように対応すればよいかのヒントをイラストと文章で解説。

家族や友達との関係、自然との付き合い方、防災・防犯などの場面が
取り上げられており、子どもたちの「考える力」を育む本。



「天気のおしぎえほん」

斉田季実治／監修 (PHP 研究所)

私たちの生活の身近にある天気。どうして雨や雪が降るのか、天気には
なぜや不思議がいっぱい。雨や風、雲など天気の基本のことから、
天気予報や天気図の見方まで、天気の「なぜ？」がわかる本。



京都市教育委員会のホームページに教科書一覧を載せています。

こちらからぜひご覧ください！ ⇒

